

自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	1493200032	実施年度	2021	
法人名	医療法人愛生会			
事業所名	グループホーム つどい			
所在地	(241-0806) 横浜市旭区下川井町 2218-25			
サービス種別	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員	計 名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護予防認知症対応型共同生活介護	ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	令和4年11月27日	評価結果 市町村受理日		

2. 運営推進会議開催日時・場所

日 時	R4年12月1日 14時 ~ 15時	場 所	グループホームつどい
-----	--------------------	-----	------------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人 数
委員	利用者又は利用者の家族	2人
	地域住民の代表者	1人
	当該サービスに知見を有する者	1人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	1人
事務局	管理者	1人
	計画作成担当者	2人
	介護従業者	1人

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	各フロアに理念の張り出しや会議にて周知する機会を持っている			理念についてももう少し注目する機会を持てるよう努める必要がある。理念が記載された名刺サイズの物をスタッフが持つことなどがあげられる。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス蔓延防止のため行えていない。	新型コロナウイルス蔓延防止しつつ、地域との交流方法を考え、交流機会を持っていく。		ZOOM等を活用し、地域の交流機会を失わないようにしてほしい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス蔓延防止のため会議形式で開催する事は控えている。事業所の運営状況については定期的に委員に報告している。	新型コロナウイルスの状況により集まって行う事は難しく、集まらない場合は現状通り書面での開催で対応とする。		2～3ヶ月毎に運営についての報告書を委員に送り、書面での開催をしている。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主に管理者及び各フロアリーダーが区職員に連絡し、協力関係を築いている。	地域で行われる会議などZOOMを活用し行われ、区職員等が参加しているものもある。ZOOMの使用法の理解及び積極的に参加する。		ZOOM等を活用した会議への参加が望まれる
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3か月に1度。身体拘束適正化委員会を開催。身体拘束に至る可能性のある事項について、話し合っけて予防に努めている。また定期的に研修を実施している。		A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化のための話し合いや年に数回の研修を行い、全職員が周知できるようにしている。抗精神薬や睡眠薬が必要だと判断された場合、出来るだけ少ない量となるよう医師に相談している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に研修を実施している。また毎月の会議で、虐待や身体拘束について話し合う機会を持っている。		A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年数回の研修を実施し、学ぶ機会を持っている。言葉遣いか不適切な対応がないか毎月の会議で話し合いが持たれている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見人制度を利用している方がおられ、日常的に学ぶ機会を持っている。			数名の方が制度を活用しているが、新型コロナウイルスにより来訪機会が減少しているため、定期的な研修について検討していく。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約等に十分に説明する機会・時間をもって、ご納得していただいた上で署名・捺印をいただいている。			重要事項等は見学に来た時点で渡しており、内容について理解する時間を作っている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、家族会を開催していたが、新型コロナウイルス蔓延防止の観点から中止している。お電話や来訪時にご報告と共にご要望を聞くように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス蔓延防止の観点から家族会は行ってないも、面会について感染予防しつつ継続しているため家族の来訪は多く、意見・要望を聞く機会をもっている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月ごとに行われる会議にて意見交換する時間をもって、業務改善に努めている。			会議は毎月行われ、記録されている。その中で業務に関わる題目で話し合う時間がある。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、職員個々の実績や勤務状況を把握、各自が向上心をもって働けるように就労状況および働きやすい環境構築に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体会議や個別に意見を聞いている。意見のあった入浴ボードやトランスファーボードを購入、介護負担軽減に努める事例がある。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修について計画的に実施している。また所有資格及び実務年数によって、外部研修を受講している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実務者研修受講を積極的にすすめるなど職員が介護福祉士を取得できるようしている。外部研修を受ける機会は少なくZOOMなどを活用した研修への参加に期待する。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス蔓延防止のため行えていない。			ZOOM等で行われていることがほとんどであるため、参加できるよう努めていく事を期待する。

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の話を繰り返す事やまとめる事でできるだけ明確化し、具体的な要望等を引き出せるよう努めている。			ユマニチュード研修を実施されており、目線を下げて接する等を指導して、話しやすい環境を作るよう努めている。
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	新型コロナ蔓延防止のため行えていない。知人・家族とのお手紙のやり取りや電話など途切れないよう努めている。	現新型コロナウイルスの状況から外出することは慎重になる必要があり、手紙や電話など現状の支援を継続して行っていく。		直接の面会は新型コロナウイルス蔓延防止のため会えないこともあるが、窓越しや屋外での面会を行ない、関係が途切れないようにしている。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々、職員とご利用者の交流の中で気付いたことや要望を月1度の会議や毎日の申し送りの中で話し合う機会をもっている。			月に一度利用者ごと要望等を会議で話し合っている。また申し送りの時間もしっかりと確保して、意見交換している。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各関係者と話し合いを行い、多角的介護計画を作成している。また介護計画はできるだけ具体的に作成し、チェックしやすいよう工夫している。	医師や看護師、マッサージ士と日々話し合い、計画書作成に反映されていることは今後も継続してほしい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画書は回数や距離で計画書が具体的に作成されている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者のご様子は記録し、毎月の会議で課題へのアプローチ方法及びアプローチに対する結果を確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の会議で目標がされており、行なえたか・行えなかったか、どうやったら出来るかが話し合われている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取り介護や個別外出等、個別の要望に対して、実現が可能なかどうか検討し、実現可能な場合は支援させていただいている。	医療機関への受診を職員が付き添いしている事はとても重要。人員等確保が難しいが、今後も継続すること望まれている。		職員の受診付き添いや買い物代行など多様なサービスを提供し、家族等の負担にも配慮している。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	クラブ活動やボランティア様に来訪いただくなど活動していたが、新型コロナウイルス蔓延防止の観点より中止している。	ZOOMなどを活用したイベントも多く、それらに参加できるようZOOMの利用方法の理解やイベントを情報収集していく。		現在、SOSネットを利用している。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望するかかりつけ医がいらないかどうかが確認している。かかりつけ医または看護師へ体調変化ある都度、報告・相談する体制			かかりつけ医について希望を聞いている。往診医の他に精神科医が2週ごと、看護師・歯科医が毎週訪問している。往診医及び看護師

				をとり、日々の健康管理を行っている。			は24Hコール対応となっている。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時、新型コロナウイルス蔓延防止のため、面会や医師からの説明時に付き添えないも、ご家族と話し合う機会をもって、医療機関と協力できるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は受診時に必ず付き添って、本人・ご家族の不安の解消また協力を努めようとしている事が伺える。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重度化指針について説明し、同意を得ている。また各関係者がスムーズに連携できるよう連絡調整を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りの研修を行い、職員が看取り介護について学ぶ機会を持っている。今までホームでお看取りした経験も数件ある。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故対応マニュアルを作成している。事例を話し合う機会をつくり、発生後の対応について検討し迅速な対応ができるよう努めている。			事故発生時は、明確に連絡する順番等が記載されている。また事故発生後の対応について具体的に考えられている。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に防災訓練を実施。最低年1回、地元消防署に指導をお願いしている。	参加してもらうためには、まず地域の防災訓練に参加する	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災訓練を年2回以上、実施しているも、地元住民との共同で行う機会が持てていない。地域の防災訓練へ参加するなどコミュニケーションをとる機会をもつことに期待する。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉遣いや態度についてスタッフ同士で注意しあっている。また定期的に言葉遣い等について、話し合う機会をもっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の会議で、言葉遣いや不適切な対応について話し合う機会を持っている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフが時間に追われることなく支援できる環境づくりをしている。また、ゆっくり支援することの大切さや根拠を周知する機会をもっている。			出職員数を多く配置し、余裕をもって一人一人対応できる体制をつくっている。

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事準備から片付けまで役割分担してご参加いただいている。また誕生日や行事の際の食事メニューはご利用者と一緒に考えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の食事は、専門業者が食材を配送しそれを調理している。行事や誕生日の際は、利用者の希望を聞いて食事メニューを決めている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特別な場合を除き、1日1300ccを目安に水分摂取を勧めている。食事はご利用者の状態に合わせ、食事形態を変更。また補食等工夫し、栄養状態改善に努めている。			食事量は毎日記録している。体重は1ヵ月ごとに測定され、体重増減を把握している。栄養状態により食事量調整や栄養補助品を活用している。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科医師の指導のもと、口腔ケアを毎食後に行なっており、職員による口腔確認および仕上げ磨きをさせていただいている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科医師または歯科衛生士より口腔ケアの重要性について指導を受ける機会をもっている。また職員にも歯科衛生士資格を所持している者がいるため、日々指導を受けている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤のみに頼るのではなく、日々の運動、水分量、乳製品やオリゴ糖の摂取など、個々に合わせて便秘予防している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	寝たきりの方がトイレに座れるようになるなど、トイレで排泄する事を重要であると考えている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	午前・午後および曜日・回数問わず入浴できる準備をしているが、17時以降は人員の問題からご遠慮いただいている。			職員が少なくなる時間帯は入浴を行なえないも、入浴回数を把握して週2回以上入浴できるようになっている。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の眠気が生じる時間の把握や照明や室温・寝具等に配慮し、心地よく休んでいただけるよう努めている。			各部屋には空気清浄機・加湿器、エアコンが完備されている。また日中に積極的に活動をして夜間に眠れるよう支援している。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お薬情報書をファイルし、確認できる状態になっている。また服薬に変更あった場合は、申し送りにて情報を共有している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬が変更または増減あった場合、日々の申し送りにより申し送られ、全職員が周知するようになっている。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	楽しみや趣向に合わせた役割や生活習慣を継続していただけるよう家事参加や毎日のレクリエーションに取り入れている。	提供するレクリエーションがマンネリ化しているため、レクリエーション担当者をフロアごと決めて、レクリエーションについて話し合いをする機会を持つていく。		レクリエーションは毎日行われ、季節ごとの行事も行われている。誕生日はお一人お一人お祝いをしている。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	散歩や外出について記録し、散歩や外出頻度を把握している。新型コロナウイルス蔓延防止の観点から遠出する機会は減少している。	新型コロナウイルス蔓延防止のため外出に慎重になっている。ZOOM等を活用した地域イベントもあるため、参加できるようZOOM等を活用したイベントに参加していく。		過去、外出やイベントへの参加・行事など多数行っていた。ドライブなど感染リスクが少ない外出頻度を増やしていけること期待する。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	直接お店に行き、ご利用者が買い物をする機会は、新型コロナウイルス蔓延防止から減少しているも、日常的に金銭管理をされている方もおられる。			利用者が直接買いに行く機会は乏しいが、通信販売などを利用して買い物をしている。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話や手紙を送れるよう支援している。またご家族等に協力いただき、お手紙のやり取りをされている方もいらっしゃる。			職員から手紙をご家族へ送る事や電話することを勧めている。字を書くことが難しい方の代筆もしている。携帯電話を持っている利用者もいる。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	廊下や浴場・トイレに手すりが設置、車椅子でも使用できる広く設計されたトイレ、またトイレや浴室に表示をつけ分かりやすくもしている。居心地の良い環境となるよう季節ごとの飾りつけをして季節感を出す等、環境づくりに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングは自然光が十分に入り明るい。季節感が出るよう飾り付けをしている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々、職員とご利用者は交流・協同する中で、職員が気づいたこと・聞いたこと(要望・不満など)会議や申し送りの中で話し合う機会を持ち、意向に沿った暮らしとなるよう努めている。			お風呂に入ることが好きな方は多く入浴できるよう、パンが好きな方は食事にパンを出すなど一人一人の意向に沿って支援をしている。

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にご家族・ご本人へヒヤリングとともにセンター方式シートにご記入いただいて、詳しい生活歴等を把握、日々の支援に活かしている。			センター方式シートを活用し、過去の暮らしや好み・嫌いな物を把握して、より良い支援に努めている。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に課題分析及び要望や不満等について検討する機会を持っている。毎月、医療機関等他業種と話し合う機会をもち、多角的な視点から現状把握に努め支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	課題分析は毎月、他業種の意見を聞きつつ行われており、日々の運動や栄養面・医療面への支援に取り入れられている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子は申し送りや記録にて情報収集、毎月の会議にて要望や不満、ケア方法について話し合われている。			毎月の会議また日々の申し送りで話し合われている。話し合われた内容や変更された支援はファイリングされ、全職員が周知できるようになっている。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	使い慣れた家具等を持ち込んでいただくようお願いしており、居室は思い思いにレイアウトされている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの部屋には、表札があり利用者ごと植物やテレビ・タンスなど持参した物や好みの物を自由にレイアウトしている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス蔓延防止のため外出はお控えいただいているが、基本的に催事の参加含み外出に制限はない。	現状ではどこまで感染予防をして行けばいいか不安に思うまた悩む事も多く、外出など線引きが難しく、色々な場面を想定して、感染予防等含め指標を作る必要がある。		外出や散歩など屋外で活動した場合は記録をしており、利用者が屋外での活動がどのくらいの頻度で行われているか把握しやすくなっている。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	楽しみや趣向に合わせた役割や生活習慣を継続していただけるよう家事参加やレクレーションに取り入れている。			レクレーションは毎日行われている。利用者ごとそれぞれ役割を持ち、家事に参加している。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	10時・15時に集団レクレーションにて、皆さんが声を出すまた自分の話をしてくださるような機会をつくっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者は表情が明るく、職員に対してだけでなく、利用者同士でもよくお話をしている様子がみられる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス蔓延防止のため地域イベントなどの参加は出来ていない。散歩時に近隣住民に挨拶する程度にとどまっている。	現在、ZOOM等は多様に活用されているため、活用方法など理解する機会を持ち、ZOOM等を活用した地域イベントなど参加していく。		新型コロナウイルス蔓延防止のため中止となっているイベントが多いも、徐々に行われつつある。参加については慎重になる必要もあるも、感染予防を考えつつ参加が

							出来る。また参加できるもの考える機会を持つことを期待する。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス蔓延防止のため地域イベント等参加出来ておらず、近隣住民に挨拶する程度に。職員とは一緒に散歩や家事、レクリエーションを行ない、コミュニケーションをとる機会を多く持っている。	現在、ZOOM等は多様に活用されているため、活用方法など理解する機会を持ち、ZOOM等を活用した地域イベントなど参加していく。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス蔓延防止のため中止となっているイベントが多いも、徐々に行われつつある。参加については慎重になる必要もあるも、感染予防を考えつつ参加が出来るよう、また参加できるもの考える機会を持つことを期待する。